

江戸に帰って大津を歩く

大津の町は江戸時代には天領となり、代官所が置られました。それから明治までの約300年の間、大津は東海道五十三次の宿場町、湖上水運の陸揚げ港町、三井寺参詣の門前町として大いに栄えてきました。元禄年間(1688-1704)にはその人口18,700人と、東京を出て品川宿から始まる東海道53宿の中でも屈指の町として賑わいました。残念ながら江戸時代の町並みは殆ど失われましたが、その時代の歴史を留めているところが幾つか残っています。そんな時代に思いを馳せ大津の町を歩いてみてはいかがでしょうか？

what's?

おおつひゃくちょう
大津百町とは



京都方面から旧東海道の追分を東へ、逢坂山峠を越えて琵琶湖に向かって東西に広がるエリアを「大津百町」といいます。

大津百町の始まりは、安土桃山時代の天正14年(1586)頃に琵琶湖岸に大津城が築城され、城下町が誕生した頃まで遡ります。その後、江戸時代は琵琶湖水運の港町、東海道五十三次の宿場町、園城寺(三井寺)の門前町として栄え、人口密度の高い町が形成されました。江戸時代中期には町数が百ヶ町以上あったことから、その繁栄を表し「大津百町」と呼ばれるまでに発展しました。戦前までに建てられた伝統的な建築物や、隣接する京都の町家の影響を受けた大津町家など、歴史的な文化資源が現在も各所に残っている魅力的なエリアです。

制作

大津市中心市街地活性化協議会
まちなかガイドプロジェクト会議

お問い合わせ

(株)まちづくり大津
滋賀県大津市浜大津一丁目4番1号 旧大津公会堂2階
[TEL] 077-523-5010



Let's try!

他にも様々なコースがあります

これまで開催して好評いただいた「大津まちあるき」を、ガイドなしでも楽しめるマップとしてまとめています。ぜひ他のコースも巡ってみてください。
※まちあるきは自動車などに十分注意してください。

- 大津絵を探す・見る・食べる
- 大津の歴史と女性たち
- 大津百町でご朱印めぐり
- 江戸に帰って大津を歩く
- 大津に鉄道がやってきた頃
- まちなか歴史遺産散歩
- 大津町家めぐり
- 湖岸歴史散歩

今回
ご紹介の
コース



2017.9 発行

START

京阪浜大津駅

江戸に帰って大津を歩く

コースのおすすめ順路と

見どころのご紹介

江戸百町案内人が
ご紹介します!



↓ 3分

① 彦田稻荷神社

彦根藩の蔵屋敷「佐和蔵」の敷地内に祀られていた稲荷社が、廃藩後も引き続き鎮座しています。もともと琵琶湖寄りであったものが昭和期に現在の場所へ移設されたものです。鮮やかな朱色の鳥居が目印です。江戸時代、大津の湖岸周辺には、各藩の米蔵が並んでおり、中でも特に加賀藩や彦根藩の蔵屋敷は規模が大きかったようです。大津代官所には幕府蔵があり、最近まで「御蔵町」という町名が残っていました。

→ 2分

まちづくり
② 大津百町館

建築は明治32年(1899)ですが、それ以前の文化・文政期(1820前後)の屋根瓦(松本瓦)が載せられていることから、江戸時代この場所に建物があったことがわかります。明治の建築以降、内部は少しずつ改築等されていますが全体として当時の様子を留めています。また、現代では見られなくなった昭和初期の家庭道具がいまだに残っています。

※[開館時間] 10:00-16:00
[休館日] 月曜、お盆、年末年始
[TEL] 077-527-3636
(大津の町家を考える会)

→ 1分

③ 平井商店

創業万治元年(1658)なので、なんと350年以上も続いている造り酒屋さんです。歴史あるこの大津でもそこまでの老舗はないと思います。ご主人から平井商店の歴史をお聞きすれば、江戸時代は本当に近く感じられるかもしれません。

info : 大津市中央1丁目2-33
[営業時間] 10:00-18:30
[定休日] 不定休
[TEL] 077-522-1277

→ 4分

④ 餅兵

宝暦年間(1758前後)に初代餅屋兵祐(もちやひょうすけ)の創業から、生活に結び付くお餅や赤飯・饅頭の製造販売を生業とされていました。お店の看板「御饅頭處」は価値のある屋外広告物として大津市景観重要広告物にも選定されています。

info : 大津市中央2丁目5-37 [TEL] 077-522-7356
[営業時間] 9:00-18:30 [定休日] 月曜

↓ 2分

けかいじ

⑤ 華階寺のいちょう

華階寺の開基天文元年(1532)の時に植えられたと言われるいちょうは、江戸時代には大きく有名で、浜の各関に出入りする船からの目印になっていたそうです。

GOAL

JR大津駅

← 4分

大津百町まちあるきMAP

江戸に帰って大津を歩く

コース

凡例

- 百町の国登録有形文化財
- 百町の近代建築物
- 百町の景観重要広告物
- 百町の展示施設
- 百町の見どころ
- 交差点名
- 旧町名
- 通り名
- 公共駐車場(有料)
- インフォメーション

ちよっと 足をのびして

大津御用米会所跡

江戸時代、湖上交通によって各藩から大津に集積されたお米は、大坂の相場を受け取られていました。堂島の米相場の情報がのろしによって次々と伝達され、ここ大津まで知らされていました。



おすすめのよりみちスポットのご紹介

ちよっとよりみち A 水野古美術店

創業天保2年(1831)の古美術店。創業時の事や江戸時代の骨董について説明を伺えます。

※ 店内は商品が積み上げられています。割れ物も多いので十分注意が必要です。

info 大津市浜大津1丁目1-10
 [営業時間] 9:00-18:00 [定休日] 日曜・祝日
 [TEL] 077-522-3320

ちよっとよりみち B 大津魚忠

明治38年(1905)に呉服商の住宅として建てられたもので、現在はお座敷に上がってお料理がいただけます。

info 大津市京町2丁目4-10
 [営業時間] 11:30-15:00 (L.O. 14:00)
 17:00-22:30 (L.O. 19:00)
 [定休日] 水曜
 [TEL] 077-522-4428

ちよっとよりみち C 天孫神社

奈良時代(782年)に創建された桓武天皇にいわれのある海運神。大津城築城(1586年)時には、城下の守護神として町衆より崇敬され、以後、脈々と大津の町と人々を見守ってきた歴史と由緒ある神社です。春は桜、夏は青葉、秋は紅葉が楽しめます。秋の祭礼には、湖国三大祭のひとつ、国指定重要無形民俗文化財「大津祭」が行われます。